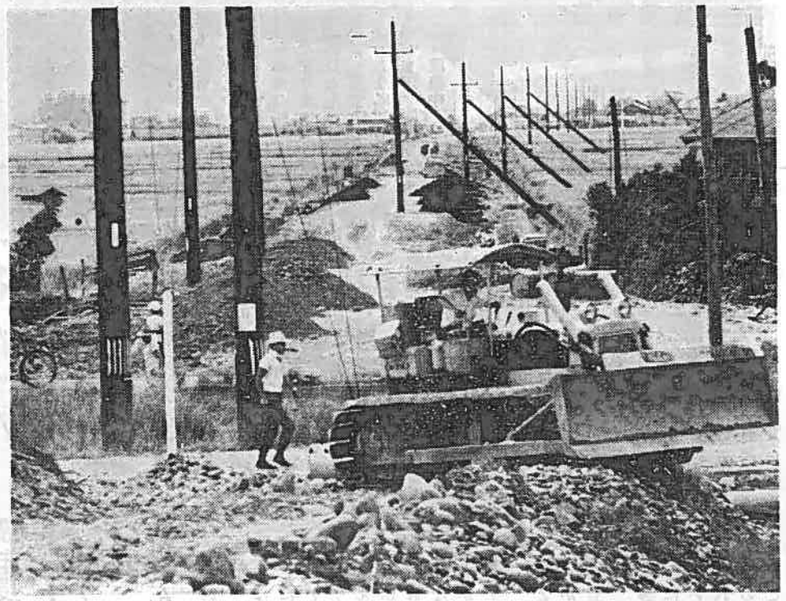


国道一号線は交通ラッシュで完全にマヒ状態。このため日本道路公団は東名高速道路建設用の資材を運搬するため、都市計画街路吉原沼津線の工事を急ピッチで進めています。

この街路は、公団が工事を行ない、東名高速道路が完成したら市が買い取ることになっているものです。工事は総工費一五〇〇〇万円で総延長三四〇〇㍍を三工区にわけ完全舗装します。第一工区は西比奈地先から赤淵川の延長約一〇〇〇㍍。第二工区は赤淵川から川尻町地先の延長一二〇〇㍍。第三工区は川尻町地先から江尾地先の延長一二〇〇㍍。幅員は六㍍から一六㍍で、九月末までに完全舗装する予定です。なおこの街路は将来沼津まで幅員一六㍍で舗装することになっています

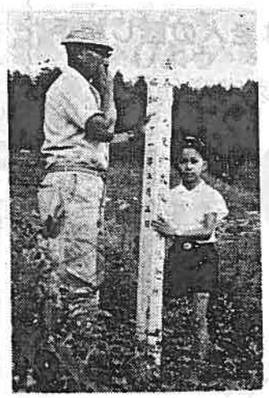
完成が待たれる都市計画街路、吉原沼津線の建設現場　＝川尻町地先で＝

急ピッチ……
吉原沼津線工事

〝緑の山〟のあとつぎを
長谷川惣作さん孫たちに記念樹

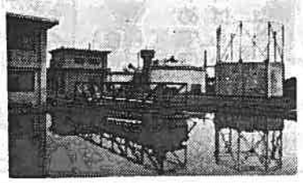
「わたしはこの子を林業の後継者に育てたいんですよ」と田端町の長谷川惣作さん（五九才）は孫の光史ちゃん（一〇才）をみつめてこう話してくれました。

長谷川さんは山林二六㌶の所有者で、孫の光史ちゃんが生れた時記念植樹を行ない、ことしの五月一〇年目を記念して大淵鶴芝下の三ヘクタールに一三〇〇〇本のヒノキを植樹。夏休みを利用してその下刈を行いました。「こどものときから土に親しませ、林業というものをこども心にきざみこむために記念植樹をやるんですよ」という長谷川さん。さいきん、農林業の後継者が少くなってきたと聞くにつけ、農業経営者、林業経営者のみなさんはもう一度後継者づくりを考えてほしいものです。



樹々の成長みまもる惣作さんと光史ちゃん

快適な生活環境をつくるために下水道はなくてはならないものです。下水道は汚水やし尿を処理するばかりでなく、カやハエの発生を防いでくれます。



吉原市の下水道事業は昭和三十四年からはじめられ、昨年までに埋管した排水管は延長約一七〇〇〇㍍で、処理区域は七〇〇ヘクタールになりました。これは第一期工事の四〇%にあたります。計画では、第一期工事の完成するのは昭和四十三年で、排水管の延長は約四二〇〇〇㍍、処理区域は一七九ヘクタールになる見込みです。

今年の事業計画は、事業費は約八〇〇〇万円で北部幹線排水路の埋管二〇〇〇㍍を工費二〇〇〇万円で、終末処理場にエアロ・アクセレーター（沈殿槽）を工費六〇〇〇万円で備えることになっています。

昨年四月から下水道の使用を一部はじめましたが、対象世帯二〇〇〇世帯のうち利用しているのはわずか七〇〇世帯で、せっかくの施設も宝のもちくされです。処理区域内の方は一日も早く排水設備をつくってほしいものです。

なお、九月十日に下水道終末処理場（日産南側和田川添）をお見せしますので見学を希望する方はおでかけください。

※水洗便所改造資金の貸し付けなど、下水道のお問い合せは市都市計画課下水道係へ

写真は市の下水道終末処理場全景

〝下水道〟で快適な生活環境を

サラリーマン夫人も国民年金に

国民年金は、サラリーマン以外の、主として農業や商事に従業している人たちで恩給や退職年金によって保護されていない人たちのためにできた年金制度です。

サラリーマン夫人は希望で任意に加入できることになっています。国民年金に任意加入して保険料を納めれば、ご主人が厚生年金保険や共済組合から受ける老令年金や退職金のほかに、サラリーマン夫人自身の老令年金が国民年金制度によってうけることができるようになっています。

たとえば、ご主人が六十五才から月一万円の老令年金を厚生年金保険から受けるとすれば、奥さんは六十五才から月五千円の老令年金を国民年金からうけられます。

また、厚生年金保険や共済組合、国民年金には通算老令年金という制度があります。

これは、単独の制度では資格がなく、年金が出ない場合でも、各年金制度に加入していた期間をジュズつなぎにして、二十年なり二十五年なりの期間があれば、その期間を通算し、年金をうけられるという制度です。

たとえば、厚生年金保険の適用をうけていたオフィス・レディが結婚して退職し、サラリーマン夫人となった場合は、国民年金に任意加入し、保険料を納めることによって、この制度の適用をうけることができます。

つまり、一年でも、三年か五年でも国民年金に任意加入すれば、保険料を納めた期間に相当する額が通算老令年金として生涯うけられます。

これもサラリーマン夫人にだけ与えられた特権です。加入して老後の保障を二倍にいたしましょう。

おしらせ

9月16－18日 発明とくふう展 統計図表コンクール

吉原市、教育委員会、商工会議所は、索晴しいアイディアを集めた「第一回発明とくふう展」と「第三回統計図表コンクール」の展示会を次のように行ないますので、多数ご観覧ください。

◇日時
九月十六、十七、十八日。時間はいずれも午前九時から午後四時まで

◇場所
吉原市立体育館

県民手帳をあつせん 締切り9月30日

市商工課では県統計協会が発行する昭和四十二年版の県民手帳を次のようにあつせんしています

◇締め切り
九月三十日まで

◇申込み先き
市商工課

◇価格
一部一〇〇円

乳幼児の健康診断 9月12日－22日

衛生課では、乳幼児の健康診断を次のとおり行ないます。

◇該当者　昭和四十年四月一日から昭和四十一年三月三十一日までに生れた乳幼児

◇日程　今泉小学校＝九月十二日、曙幼稚園＝九月十三日、伝法小学校＝九月十六日、元吉原小学校＝九月十九日、大淵第一小学校＝九月二十日、神戸小学校＝九月二十一日、体育館＝九月二十二日

◇時間　いづれも午後一時三十分から三時まで

9月14日 不用犬買上げ

市衛生課では不用犬の買い上げを次のように行ないます。

◇買い上げ日
九月十四日

◇場所と時間
大淵支所一〇時から一〇時二〇分。三ツ倉作業所一〇時四〇分から一一時。石坂作業所一一時二〇分から一一時四〇分。上和田子安地蔵前一時一〇分から一時三〇分。一の宮十王子神社一時五〇分から二時一〇分。原田支所二時三〇分から二時五〇分

停電…9月29日須津地区

東京電力吉原営業所が配電工事を行うため、次の区域は停電します。

▽期間は九月二十九日

▽区域と時間は中里町の一部（福泉西側近くから昭和物産近くまで）川尻町の一部（岳鉄踏切と新幹線の間）は午前八時から午前十二時まで
中里町、神谷町、増川町、江尾方面は午前八時から八時十五分まで
と午前十一時四十五分から午前十二時まで

・時間はいずれも午後五時五十分から八時二十分まで

労働学院の受講生募集

県労政課では、健全な労働運動の推進と、近代的な労使関係の確立をはかるためこしも「県労働学院」を次のように開講します。

◇開講期間
九月二十六日から十一月十一日まで

・受講日は毎週月、水、金曜日の二十日間

◇会場＝沼津学院（沼津労政会館内）

◇対象
労働者を主としますが特に制限はありません

◇受講料＝無料

◇申込み先き＝市商工課

◇申込み期限＝九月二十日まで

国道の四カ所右折禁止に

県公安委員会は国道一号線の交通渋滞を緩和するため、次の場所を九月一日から右折禁止場所に指定しました。

◇柏原町二（高木プレス入口）は須津方面への右折禁止

◇西田中町の三差路は鈴川方面への右折禁止

◇荒田島（高井商店前の十字路）は吉原方面への右折と田子浦方面への右折が禁止

◇津田（消防署西側の変型十字路）は日吉町方面への右折が禁止

下刈り真つ盛り

ここ連日、市有林の下刈り作業が勢子辻のひとたちの手で盛んに行なわれています。

下刈りは一年生から八年生までの山林を対象に行うもので、ことしは桑崎高場所、穴小屋などのざつと十一ヘクタール。「一日ひとりが二〇アールしかできない」といいながらも刃渡り五〇㌢の大きなカマで雑草を切り払っていく。作業は九月中旬まで行われます。

大ガマで下刈りをするひとたち　＝桑崎高場所で＝